

令和5年度視察研修

令和5年10月11日(水)

本年度の視察研修には、27名の会員に参加いただきました。

当日は、静岡ガス&パワー(株)様、中部電力(株)浜岡原子力発電所を見学しました。両社におかれましては、現場での分かりやすい丁寧な説明をいただき、有意義な研修となりましたことについて感謝申し上げます。

研修行程表

	行 程	
	10:00	J R 袋井駅南口 集合
10:10	出発	
10:30	静岡ガス&パワー(株) 袋井市岡崎 営農型太陽光発電所 到着 見学 (10:30~11:00)	
11:05	出発	
11:55	中部電力(株)浜岡原子力発電所 到着 昼食	
13:00	浜岡原子力館見学 (13:00~14:00)	
14:00	原子力発電所構内見学 (14:00~15:30)	
15:35	出発	
16:25	J R 掛川駅南口 解散	

① 静岡ガス&パワー(株) 袋井市岡崎 営農型太陽光発電所

静岡ガス&パワー(株)が県内で進める営農型太陽光発電施設で、県内最大規模。耕作放棄により県内で拡大する荒廃農地の利活用、食糧自給率の向上にも寄与することが期待されます。

当施設は、農地に囲まれた雑木林 2.5ha を買収し、高さ 3.1m から 3.7m の高さに太陽光パネルを設置、パネルを支える支柱と支柱の間隔を 3.6m とり、大型の農業機械による農作業を可能としています。発電容量は約 1980kw、想定年間発電電力量はおよそ 242 万 kWh で一般家庭 800 世帯分の年間使用電力量に相当します。また、パネル下の農地では、契約した農業法人により、ソバの栽培が行われています。



太陽光パネルと農地



太陽光パネルと農地



大型農業機械と太陽光パネル



農地（生育中のソバ）の様子

② 中部電力㈱浜岡原子力発電所

浜岡原子力発電所には1号機から5号機の原子炉施設があり、1号機及び2号機は耐用年数を終え、原子炉は既に解体されています。

2011年の福島第一原子力発電所の事故を契機に、3号機、4号機、5号機は現在停止中ですが、再稼働に向けた安全運転管理、津波による浸水対策や電源喪失対策、外部からのテロを防ぐ対策など、事故を防ぐための措置が徹底して取られています。

こうした対応のため、現在、発電所では約700人と関連会社の社員約2,000人が働いています。

世界の気温上昇に歯止めをかけるため、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すためには、太陽光や風力発電と同じく、発電時にCO₂を排出しない原子力発電の再活用に向けた取り組みが世界的に広がっています。



概要説明



集合写真

厳重なセキュリティチェックを受けた上で、今回、原子力発電所構内を特別に見学させていただきました。

ただし、撮影禁止のため構内等の写真はありません。